



'94 SKI WEAR COLLECTION SPORTS MITUHASHI 9/23



SKI WEAR

SKIシーンの先端を提唱するミツハシ・スキー・ウェア・コレクション。9月23日に行われた今年のコレクションは、ストーリー性をもたせたビジュアルとサウンドのコラボレーションで今までにないSHOW感覚を実現。待望のスキーシーンを彷彿させる映像やDJ&ライブ演奏をバックに、流行のモーグルやスノーボード系を中心とした最新ウェアが次々と登場し、来場者の眼差しはステージに終始釘付け。さらに、ゲスト来場したあの海和俊宏のトークもあり、本格的スキーフリークたちは大満足の評を残した。

WATCHING CAREFULLY



①「今年はマイナーなスキー場へ行ってガンガン滑りたいの」と平尾雅子さん、中川和美さん、北見幸子さんの仲良し3人組。②モスグリーンのスノーボード系ウェアはロッシュ。③2人のウェアはクレソン3570と4000。クレソンは関西に余り出回っていない注目のウェア。④「今年はまだ別のコレクションを2回みたけど、このコレクションが一番見て面白かった」と2人仲良く笑顔で応えてくれた前田賢司さんと中村佳美さん。⑤グレテンで大人のムードを醸し出すシックな縦縞のウェアはオーク。⑥さわやかなイメージのウェアはボルベネーへとフィオレ。⑦会場をぐるぐる回しながらも、笑顔と暖かな対応を絶やさなかったミツハシファミリー。



11



10



9



15



14



12



13



16



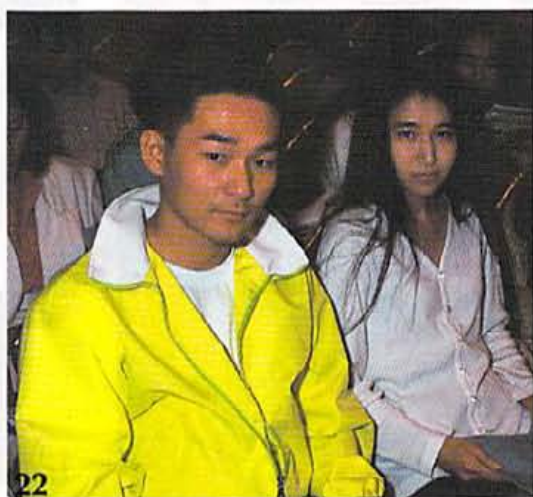
18



17

WATCHING CAREFULLY

白派系スキーヤーといった感じの茨木満さんと林砂織さん。「今年は去年と比べて落ち着いた色イメージが多いみたいだね。」そうです。今年のウェアはクレソンを代表にアダルト感覚がポイントなんです。19登場するウェアのタイプがBGMの違いで表現されていたのは、このコレクションならではの、右のダンス的なBGMとともに登場したアクティブ感覚いっぱいウェアは、左からエバノバ、オーグ、フェニックス。11一見ダンティなヘアバンドをした男性の着るウェアはシルビー。12会場一番盛りはスキー大好きなカップル。「毎年スキー場開きの11月からスキーしにいってます。今年は長野あたりのスキー場へ行く予定なんです、その時に着るウェアを参考に来ました。」と福島義治さん。ちょっと照れながら「エレッセとゴールドウィンとテサントに注目してます」と増岡美津子さん。13「今年は車も買ったし、絶対スキーへいっぱい行く」と開場前からウキウキの久大保里美さん。好きなウェアのブランドは？と問うと、一緒に来ていた土居倫子さんが元気一言「やっぱりエレッセ」。14ライブ演奏はサウンドとしての演出だけではなく、ビジュアルとしてもウェアコレクションの枠を超えた新たなインパクトが感じられ、来場者の好評を得ていた。15大人のムードを感じさせる色使いやデザインが今年のウェアの傾向とか。右上の水色のレディースはクレージュのもの。16海和俊宏さんを中心としたトークコーナーでは様々なスキーの話で盛り上がった。なんでも最近の海和さんも近頃流行のスノーボードに凝っているらしい。17カップルが着ているラブな感じのウェアはクレソンの3550と3000。18コレクション終了後、海和さんのサインをもらって笑顔いっぱいの北川純一さんと豊岡由美子さん。「ショーもよかったけど、海和さんの話も面白かった。来て良かったです」と大喜びの2人。



同シーズン到来からゲレンデでの滑りまでを7つのシーンに分けたショー構成は、そのシーンごとでウェアのタイプを表現。BGMに名画「白い恋人たち」の映像が映しだされると、BGMがアップからスローテンポに変わるなど、見るだけではなく体全体で感じる演出がなされ、来場者にホワイトステージ感覚を思い起こさせる様々な新企画をこのコレクションの随所に見ることができた。①「いつも梅池とかたかど、今年のスキーは北海道へ行くの」と楽しげに話していた左から藤野明子さん、長谷川美幸さん、矢野章子さん。説明桐子さん。スキーをエンジョイするコツは「滑る時間を充実させるため、寝れないように板は宅急便で送る」とか。後田中昌美さん、真田幸子さんと？人の女性を連れてステージの最前列に陣取ったスキーフリークの松永恵一さん。「スキーは大好き。学生時代は梅池でバイトしました。今日はもちろんニューモデルのウェアを見に来たんですよ」といいながら、最後に「いつもクラブフェイム読んでますよ。がんばってください」との嬉しい一言。②今年もモグルとスノーボード系のウェアが中心となっているものの、落ち着いた大人のムードを感じさせる色使いやデザインが流行の先端。特に今までのように花柄などで派手に可愛らしさを強調するより、シックに女性らしさを感じさせるのがオシャレ。このコレクションに採れなかった人は、ミツハシの京都店へ行けばチェックできる。が、なにぶん希少価値のウェアばかりなのですぐ行かなければSOLD OUTの場合があるのでご注意を。③来年行われる京都の建都1200年祭の開催100日前のこの日、マスコットキャラクターの京(みやこ)と読む)のぞみちゃん人形が、このコレクション会場で初お目見え。のぞみちゃんもスキー好き？

